

発足年度の異なる三つのグループ毎に曜日班を編成して、日本民家園内の国乃至神奈川県指定の重要文化財を多数含む古民家の燻煙・清掃に当たってきた約10年を経て、グループの枠を取り外し炉端の会としてひとつにまとまって曜日班編成をすることとなり、統一後の初代会長を務めることとなりました。

ここまでの約10年日本民家園への来園者数の頭打ちが続いており、貴重な文化財をもっと多くの人達に見学いただき親しんでいただくことを目指して、民家園内部でアイデアを出し合っただけで協議・検討されていると耳にしました。

炉端の会が一本化したことで炉端の火焚きにとどまらず幅広い活動の余地ができたこと、また、日常炉端におればこそ来園者の声を直接聞きニーズに応えることが出来ると考え、民家園とひとつになってアイデア・智恵を出し合おうと「民家園協力者会議」に積極的に参加し協議・検討を重ねました。

当時予算の裏付けは期待できず金のかからない、すぐに実行可能なことから順次スタートすることで「園内ガイド」「園内環境整備」「展示品清掃・整備」等のチームが誕生し曜日班の枠を超えた活動の場が出来ました。

従来の曜日班の火焚き活動がタテ糸となり、チームそれぞれの活動がヨコ糸となり炉端の会の一体感が更に強まり以後の会の活動の原形が出来上がりました。

その後も新しいチームの編成があり来園者対象の民家園催事への積極的参加・協力等活動分野は広がっており、これからも益々の発展を期待しています。

炉端の会には、お互いに異なった体験・経歴・技能に優れたメンバーが多数おられ、多岐多数のアイデアの提供をいただき、また、各チームのリーダーとして活動いただき、3年間の会長を大過なく務めることが出来、本当に幸いだったと当時がなつかしく思い出されます。

ボランティア活動はやれる時にやれることをやりがいをもってやるのが大切で、チーム活動、民家園催事への参加・協力は歓迎ですが、園内古民家の燻煙・清掃こそ炉端の会発足以来20年間の一貫したメイン活動であり各自事情の許す限り、誇りを持って長く続けていただくことを期待します。

